

## 第1章 山口市の概要

### 1. 地域の特徴

#### (1) 位置

山口市は、山口県の中央部に位置しており、南は瀬戸内海に面し、東は防府市、周南市、西は美祢市、宇部市、北は萩市、更に島根県津和野町、吉賀町に接し、東西に46.3km、南北に59.7kmの広がりを持ち、面積1,023.31km<sup>2</sup>を有しています。

#### (2) 市域の移りかわり

平成17年(2005年)10月1日、山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町の合併により新「山口市」が誕生し、更に平成22年(2010年)1月16日に阿東町と合併しました。

#### (3) 都市機能

本市は、県庁所在都市であり、これまで行政・教育・文化の中心的役割を果たしています。県庁や国の行政機関、山口大学等の高等教育機関、山口情報芸術センターをはじめとする文化施設が集積しています。

また、総合病院や福祉施設、大型商業施設の立地により、日常生活面においても近隣市町との結びつきが深く、広域・高速交通網が東西南北に走り、県内の主要都市に1時間以内で移動できるとともに、高速自動車道や山陽新幹線、山口宇部空港といった高速交通網との接続の便もよく、広域交流拠点としての優位性が備わっています。

#### (4) 産業構造

本市の産業構造を市内総生産の産業別にみると、サービス業、卸売・小売業、運輸・通信業を中心とした第3次産業が主要産業となっています。また、県庁所在都市であることや、国の出先機関が立地していることから、行政サービス生産者の割合が高いのも特徴的です。

### 2. 自然環境

#### (1) 地形

北部の山地から、山口地域は樫野川が、徳地地域は佐波川が、盆地、南部の臨海平野を経て瀬戸内海に流れ込んでおり、阿東地域は阿武川が「名勝長門峡」を経て、萩市から日本海に注いでいます。

また、秋穂地域は瀬戸内海に突出した半島状をしており、阿知須地域には2.86km<sup>2</sup>の面積を持つきらら浜(阿知須干拓地)が広がっています。

#### (2) 気象

南北に細長い地形のため、北～中部の盆地地域と南部の海岸地域では若干気候が異なりますが、全域において温暖です。山口県内各地の観測データと山口市(山口特別地域気象観測所)を比較してみると、梅雨期の降水量が多く、冬季(特に1, 2月)の気温が低いことから、寒暖の差が大きく、降雨量が多いという盆地の典型的な内陸性気候といえます。また、北部に位置する徳地地域、阿東地域の山間部では冬季の気温が低く、積雪量も多くなっています。

一方、山口市の南部地域では山間部に比べ、冬季の気温が高く、降水量が少ない瀬戸内型の気候を呈しています。

## 第2章 山口市環境基本計画

本計画は、環境の保全と創造に関する長期的な目標と施策の方向性を示し、施策・事業の総合的、計画的な推進により、「山口市環境基本条例」における基本理念の具現化を図っていくためのものです。

また、喫緊の課題である地球温暖化問題に関し、地球温暖化対策の具体的な推進を図るため、「山口市地球温暖化対策地域推進計画」を含む計画としました。

### 1. 市のめざす環境像

市民、事業者、民間の団体そして市（行政）が一体となり、環境の保全や創造に取り組むために、めざすべき将来の環境イメージを描き、それらを共有化する事が重要です。

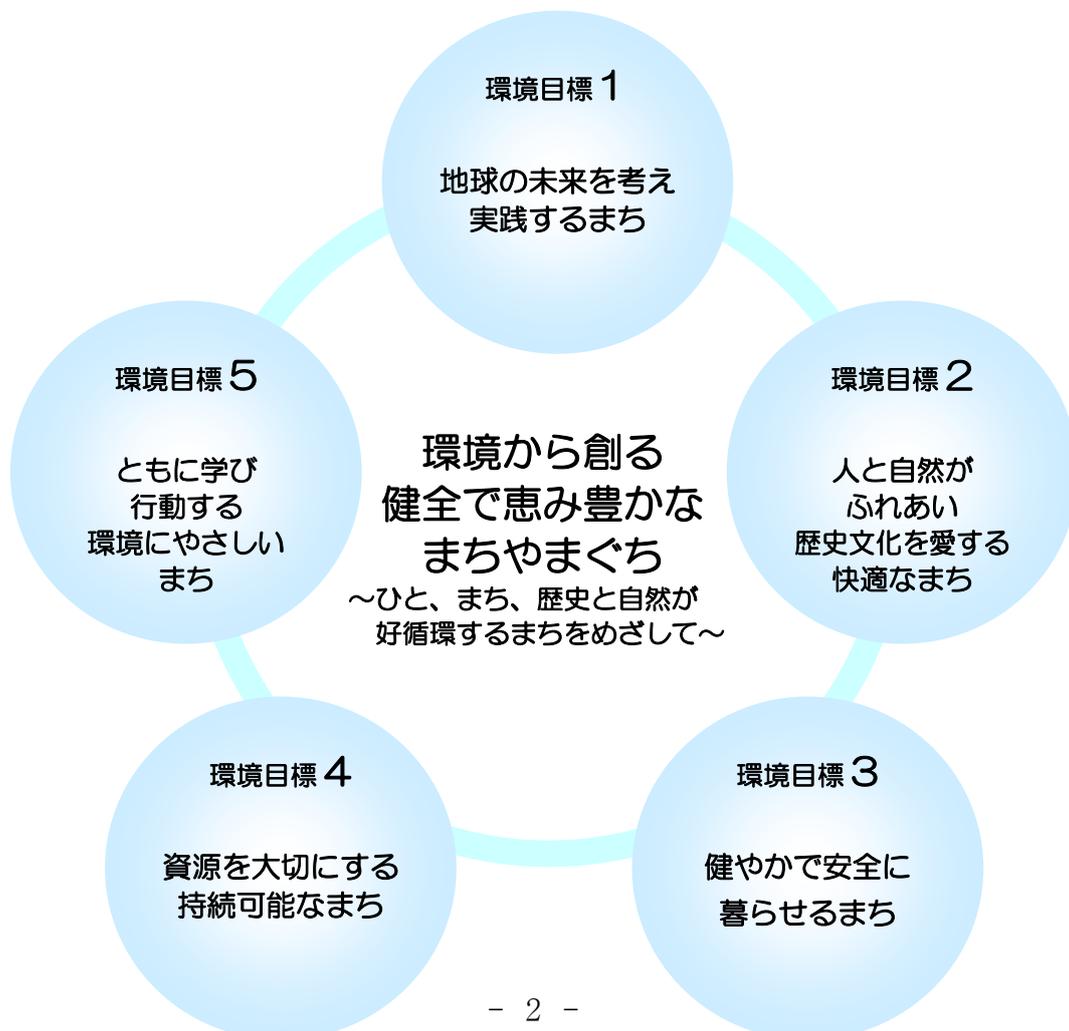
そこで、本計画でめざす環境像を以下のように定めています。

**環境から創る 健全で恵み豊かなまち やまぐち**  
～ひと、まち、歴史と自然が好循環するまちをめざして～

### 2. めざす環境像の実現に向けた環境目標

めざす環境像を実現するために、5つの環境目標を定めています。

それぞれの環境目標の達成に向け、総合的・体系的に施策を展開しています。



## ・環境目標1 地球の未来を考え実践するまち

各主体が、家庭・事業所・学校・地域等において、温室効果ガス排出抑制のための取組みを着実に推進するとともに、オゾン層破壊等の地球規模で進行する環境問題についても地域として適切に対応するなど、地域から地球の未来を考え実践するまちをめざします。

- 【基本施策】 ① 地球温暖化防止への貢献 【山口市地球温暖化対策地域推進計画】  
② 地球環境問題への対応

## ・環境目標2 人と自然がふれあい歴史文化を愛する快適なまち

山地、田園、河川、海岸などの多様な自然環境と調和した美しい景観を保全するとともに、生態系や生物多様性に配慮した、人と自然がふれあい、歴史文化を愛する快適なまちをめざします。

- 【基本施策】 ① 生態系および生物多様性の確保  
② みどり豊かで多様な自然環境の保全  
③ 自然とのふれあいの確保  
④ 歴史的文化的環境の保全  
⑤ 山口らしい都市空間の保全・創出

## ・環境目標3 健やかで安全に暮らせるまち

日常生活や事業活動などに伴い発生する大気汚染や水質汚濁、土壌汚染などの環境への影響の未然防止および負荷低減に努めるとともに、市民や事業者の化学物質への理解など適切な対応を進め、健やかで安全に暮らせるまちをめざします。

- 【基本施策】 ① 大気環境の保全  
② 水環境の保全  
③ 土壌環境の保全  
④ 化学物質への適切な対応  
⑤ 身近な生活環境の保全と向上

## ・環境目標4 資源を大切にす持続可能なまち

3Rの推進や廃棄物の適正処理を推進し、エネルギーの効率的利用に努めるとともに再生可能エネルギーを有効利用するなどし、資源を大切にす持続可能なまちをめざします。

- 【基本施策】 ① 3Rと適正な廃棄物処理の推進  
② エネルギーの消費抑制と有効利用の推進

## ・環境目標5 とともに学び行動する環境にやさしいまち

環境教育や環境学習を推進し、日常生活や事業活動、地域コミュニティ等のあらゆる場面において環境に配慮した行動を自発的にできる人を育成するとともに、環境の保全、創造に向けた活動に取り組める仕組みづくりを進めます。

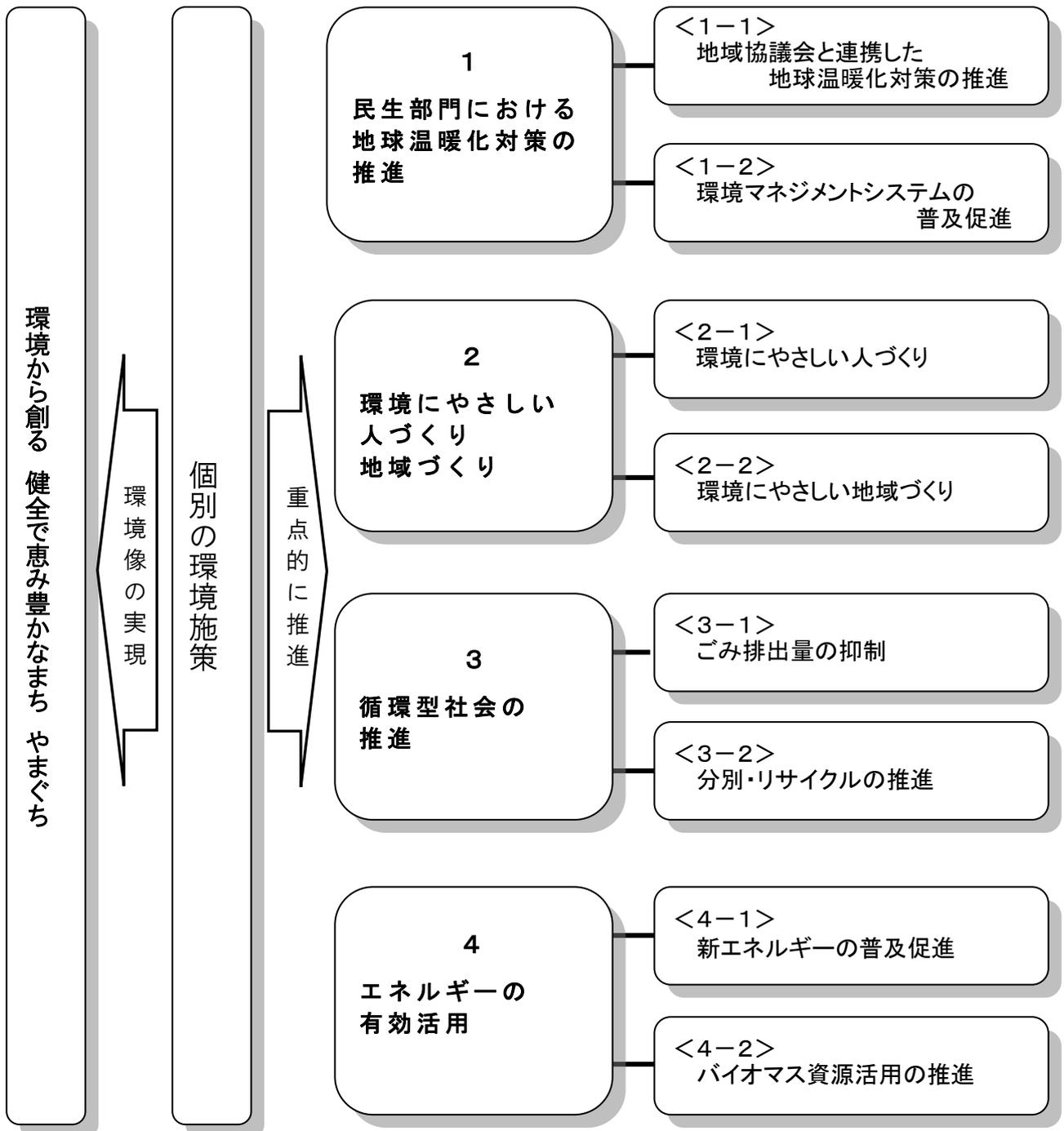
また、環境産業の振興を図るとともに、国際的、広域的な連携、協力を推進します。

- 【基本施策】 ① 環境教育・環境学習の推進  
② 環境の保全・創造に向けた活動の推進と産業の振興

③ 国際協力、広域連携の推進

3. 重点プロジェクト

本計画では、本市の環境の現況や課題、地域特性などを踏まえ、環境施策の中でも重点的に取り組むものとして、「重点プロジェクト」を掲げ、めざす環境像『環境から創る 健全で恵み豊かなまち やまぐち ～ひと、まち、歴史と自然が好循環するまちをめざして～』の実現性を高めることをねらいとしています。



#### 4. 進行管理指標一覧

本計画では、毎年度の進行管理において、取組みが着実に展開されているか、その結果、目標に向けて環境がどのように改善されているか、といったことを継続的に点検・評価するため、進行管理指標を設定しています。なお、進行管理指標のうち、重点プロジェクトに関連するもの（★印の付してある指標）については、事業成果を表す重要な指標として管理していきます。

※平成22年度以降は、阿東地域を含めた指標値としています。

#### 環境目標1 地球の未来を考え実践するまち（P12～）

基本施策① 地球温暖化防止への貢献[山口市地球温暖化対策地域推進計画]（P12～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
市域から排出される二酸化炭素排出量	千t-CO <sub>2</sub>	H16	1,909.6	H22	1,882.8	H23	1,714.0	↑	H24	1,690.7	H29	1,501.8
★1世帯のマイカーに係る二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	H18	1,866.5	H24	1,906.1	H25	2,004.1	↓	H24	1,461.7	H29	1,194.0
温暖化防止を意識して生活している市民の割合	%	H19	64.8	H24	73.8	H25	75.4	↑	H24	67.4	H29	70.0
★ISO14001、エコアクション21、グリーン経営認証などを取得している事業所数（累計）	件	H19	32	H24	66	H25	98	↑	H24	43	H29	56
★住宅用太陽光発電システム設置件数（累計）	件	H19	1,047	H24	331 (2,704)	H25	471 (3,175)	↑	H24	1,400	H29	2,000
コミュニティ交通の年間延べ利用者数（コミュニティバス）	人	H19	166,625	H24	146,343	H25	140,726	↓	H24	173,000	H29	180,000
エコドライブ講習会の受講者数（累計）	人	H19	—	H24	26 (204)	H25	21 (225)	↓	H24	180	H29	405
人工林の間伐面積	ha	H19	438.53	H24	1,191.93	H25	596.67	↓	H24	1,226.94	H29	1,226.94

基本施策② 地球環境問題への対応（P26～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
コミュニティ交通の年間延べ利用者数（コミュニティバス）【再掲】	人	H19	166,625	H24	146,343	H25	140,726	↓	H24	173,000	H29	180,000
エコドライブ講習会の受講者数（累計）【再掲】	人	H19	—	H24	26 (204)	H25	21 (225)	↓	H24	180	H29	405

#### 環境目標2 人と自然がふれあい歴史文化を愛する快適なまち（P27～）

基本施策① 生態系及び生物多様性の確保（P27～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
自然の中の生き物や植物を大切にしている市民の割合（※）	%	H19	88.0	H24	47.5	H25	46.9	→	H24	47.0	H29	50.0
水辺の教室の参加人数（累計）	人	H19	64	H24	97 (346)	H25	16 (362)	↓	H24	239	H29	414

※平成21年度以降、指標の取り方を変更したため、大幅に実績値が下がっています。

基本施策② みどり豊かで多様な自然環境の保全（P30～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
山口市の自然環境に満足している市民の割合	%	H19	85.8	H24	90.9	H25	90.8	→	H24	87.1	H29	88.1
エコファーマー認定者数	人	H19	465	H24	544	H25	508	↓	H24	700	H29	700
学校給食における地元農産物を使用する割合	%	H19	38.0	H24	58.0	H25	60.5	↑	H24	50.0	H29	59.0
人工林の間伐面積【再掲】	ha	H19	438.53	H24	1,191.13	H25	596.67	↓	H24	1,226.94	H29	1,226.94

基本施策③ 自然とのふれあいの確保（P34～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
森の案内人による案内人数	人	H19	914	H24	1,193	H25	1,754	↑	H24	2,000	H29	2,000
★都市農村交流の人口	千人	H19	1,759	H24	1,842	H25	1,841	→	H24	2,150	H29	2,250
水辺の教室の参加人数（累計）【再掲】	人	H19	0	H24	97 (346)	H25	16 (362)	↓	H24	239	H29	414

基本施策④ 歴史的文化的環境の保全（P36～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
山口市の歴史や文化に誇りや愛着を持っている市民の割合	%	H19	75.5	H24	74.1	H25	72.9	↓	H24	現状以上	H29	77.0
文化財等を活用したイベントの参加人数	人	H19	874	H24	1,169	H25	1,276	↑	H24	950	H29	1,100

基本施策⑤ 山口らしい都市空間の保全・創出（P38～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
公園が利用しやすいと思う市民の割合	%	H19	69.8	H24	75.3	H25	74.0	↓	H24	70.0	H29	75.0
景観やまちなみに満足している市民の割合	%	H19	71.7	H24	79.9	H25	80.7	→	H24	現状以上	H29	72.0
緑のカーテンの実施割合（家庭）	%	H21	—	H24	21.7	H25	21.2	→	H24	5.0	H29	10.0
不法投棄の発見報告件数	件	H19	48	H24	7	H25	34	↓	H24	43	H29	38

環境目標3 健やかで安全に暮らせるまち（P42～）

基本施策① 大気環境の保全（P42～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
大気環境の状況（窒素酸化物）	ppm	H19	0.015	H23	0.013	H23	0.011	→	H24	現状維持	H29	現状維持
大気環境の状況（浮遊粒子状物質）	mg/m <sup>3</sup>	H19	0.077	H23	0.014	H23	0.015	→	H24	現状維持	H29	現状維持
野外焼却の苦情件数	件	H19	45	H24	34	H25	23	↑	H24	40	H29	36

基本施策② 水環境の保全（P45～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
河川におけるBODの平均値	mg/l	H19	1.00	H24	0.70	H25	0.70	→	H24	1.00	H29	1.00
河川等の水がきれいになったと思う市民の割合	%	H19	69.2	H24	77.1	H25	79.9	↑	H24	72.0	H29	75.0
汚水衛生処理率	%	H19	78.9	H24	86.1	H25	87.4	↑	H24	82.0	H29	92.3

基本施策③ 土壌環境の保全（P48～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
土壌汚染に関する苦情件数	件	H19	0	H24	1	H25	0	↑	H24	現状維持	H29	現状維持
地下水の水質調査地点の環境基準達成割合	%	H19	100	H23	100	H23	100	→	H24	現状維持	H29	現状維持
土壌ダイオキシン類常時監視調査地点の環境基準達成割合	%	H19	100	H23	100	H23	100	→	H24	現状維持	H29	現状維持

基本施策④ 化学物質などへの適切な対応（P49～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
エコファーマー認定者数【再掲】	人	H19	465	H24	544	H25	508	↓	H24	700	H29	700
土壌ダイオキシン類常時監視調査地点の環境基準達成割合【再掲】	%	H19	100	H23	100	H23	100	→	H24	現状維持	H29	現状維持
野外焼却の苦情件数【再掲】	件	H19	45	H24	34	H25	23	↑	H24	40	H29	36

基本施策⑤ 身近な生活環境の保全と向上（P50～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	%	H19	63.6	H24	72.0	H25	76.2	↑	H24	64.0	H29	64.5
生活公害（騒音、悪臭、野焼き）に関する苦情処理件数	件	H19	222	H24	93	H25	54	↑	H24	199	H29	179
騒音測定における環境基準の達成地点の割合	%	H19	80	H24	97	H25	98	↑	H24	100	H29	100

環境目標4 資源を大切に持続可能なまち（P52～）

基本施策① 3Rと適正な廃棄物処理の推進（P52～）

指標	単位	現状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
★1人1日あたりごみ排出量（集団回収を含む）	g/人日	H19	1,305	H24	1,084	H25	1,093	↓	H24	1,173	H29	1,115
★リサイクル率	%	H19	22.4	H24	31.9	H25	33.1	↑	H24	35.0	H29	35.0
最終処分率（ごみ総排出量に対する埋立処分量の割合）	%	H19	11.4	H24	3.0	H25	3.1	→	H24	3.1	H29	2.9
可燃ごみの資源物の混入率	%	H19	20.0	H24	21.7	H25	17.0	↑	H24	15.0	H29	10.0

基本施策② エネルギーの消費抑制と有効利用の推進（P58～）

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
緑のカーテンの実施割合（家庭）【再掲】	箇所	H19	—	H24	21.7	H25	21.2	→	H24	5.0	H29	10.0
★住宅用太陽光発電システム設置件数【再掲】	件	H19	1,047	H24	331 (2,704)	H25	471 (3,175)	↑	H24	1,400	H29	2,000
★廃食用油からの年間BDF精製量	kℓ	H19	10.8	H24	7.4	H25	6.6	↓	H24	10.9	H29	11.3

環境目標5 とともに学び行動する環境にやさしいまち（P59～）

基本施策① 環境教育・環境学習の推進（P59～）

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
環境をテーマとした出前講座の開催回数	回	H19	26	H24	49	H25	52	↑	H24	40	H29	50

基本施策② 環境の保全・創造に向けた活動の推進と産業の振興（P62～）

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値						中間年度		最終年度	
				年度	数値	年度	数値		年度	数値		
★環境に優しい行動をしている（環境活動に参加している）市民の割合	%	H19	45.2	H24	58.3	H25	58.9	→	H24	48.2	H29	53.2
環境保全に関する表彰件数(累計)	件	H19	12	H24	1(28)	H25	2(30)	↑	H24	77	H29	142

評価の説明

前年度の数値目標と比べ数値が上昇している	↑
前年度の数値目標と比べ数値が横ばいである	→
前年度の数値目標と比べ数値が下降している	↓



【担当課：環境政策課】

**周布町資源物ステーションの拡張工事を行いました！**

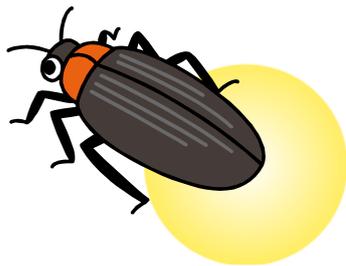
平成17年度に周布町資源物ステーションを、24時間いつでも資源物の持込みが可能な施設として、設置しました。しかし、近年は、当初想定していた以上の利用者数や排出量があり、繁忙期には施設の収容能力を超える事や、進入車両の渋滞により、利用者や周辺地域の住民の迷惑となっていました。このため、敷地用地を新たに確保し、既存ステーションの拡張と進入路や駐車場を整備するなど利便性の向上を図るため、ステーションの改修工事を行いました。新たなステーションには、広い駐車場と8品目の資源物回収棟を2系統設置し、混雑や渋滞の解消を行いました。



【担当課：資源循環推進課】

**天然記念物山口ゲンジボタル発生地保存管理計画を策定しました！**

山口市教育委員会では、これまで「天然記念物山口ゲンジボタル発生地保存管理計画」に基づき、河川の改修工事に対するゲンジボタルの生息環境の保全など、様々な保護施策を展開し、一定の成果を挙げてきましたが、一方で管理区域外のホタルの生息が脅かされるなど、現行計画では対応しきれない状況が生じています。こうした状況を踏まえ、全面的に見直した、新しい保存管理計画を策定しました。



【担当課：文化財保護課】

プロジェクト未来遺産に登録されました！

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が実施する第5回「プロジェクト未来遺産<sup>※1</sup>」に、榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会が中心となり、活動をしている「榎野川もり・かわ・うみを再生し人と人をつなぐプロジェクト」が登録されました。

このプロジェクトは、山口市榎野川流域を森・川・海でつながる一つのフィールドとし、住民、事業者、民間団体、大学等が連携・協働して、豊かな自然を未来に引き継ぐ取組みを展開しています。

### 【主な取組み】

上流域：源流の森づくり／中流域：アユの産卵場づくり／下流域：干潟耕うん等、里海の再生活動／流域全体：地域通貨「フシノ」の活用等。

※1プロジェクト未来遺産は「未来へ伝承すべき遺産」として、100年後の子どもたちに地域の文化や自然遺産を残し、伝えていくことを目的にする「未来遺産運動」の取組みとして行っているものです。



《未来遺産登録証》



《干潟耕うん作業》

【担当課：環境政策課】